

梅雨の季節に入り、時折のぞく青空やさわやかな風がさらにここちよく感じます。この季節、校内の草花、雑草が生命力に満ち、あきれるほど成長が早い！負けないように用務員の久保さんと一緒に草抜きと草刈りにいそしんでいます。しかし、雑草魂（ざっそうだましい）は手強い（てごわい）！

日本

30年間経済が停滞し、かつてさまざまな分野で世界1だった頃の面影はもはやなく、アメリカに技術基盤を押さえられ、中国に資産で圧倒され、教育ではかつて日本を手本としていた諸国に後塵を押し、少子高齢化で力を失っていく「日本」。けれども、大好きな祖国「日本」について7月に生徒の皆さんにプレゼンする予定です。今回の校長室だよりは、その予習版となります。

日本は
すい国は
！国は

なぜこうなっ
たのか。我々大人の
責任は大きいです。

他国とちがう日本

- 四季がある 景色がきれい
- 災害が多い お互い様文化
- 温厚で和をおもんずる
- 収納が得意な国民
- まだまだありますね！

他国とちがう日本

●異常なまでに、
みんなとちがうことを

おかしい
ダメ
かわいそう

と思う

日本の国力低下

GAFAIに太刀打ちできない
経済で中国、インドに抜かれる
若者が世界で最も自信のない国
大人が世界で最もチャレンジ
しない国

ちがう
見たことない
だれもやってない

ことに
チャレンジしよう！

とはいえ、
勇気とやる気が、、
(>_<)

好きなことを追究して
少しずつチャレンジの
幅を広げよう

「好き」のエネルギーを使おう

これからの時代は、あらゆるところにチャンスがたくさん転がっている時代だとも言えます。社会全体が変わることを求められているのに、変わろうとする人が少ない。これは大きなチャンスです。

社会に出たら、このチャンスをもものにして、大きく羽ばたき、ふるさとに帰ってその力を生かしてくれればなあと思います。

日本に生まれたことを誇りとし、高知県で、吉良川で生まれ、育ったことを誇りに思える生徒に育てて欲しい。

それが人生の背骨となり、将来大きな力になるはずです。



残念なことに◎から◎へつなげなかった。

平成に入り、ものが余る時代になりました。ものが足りなくて、作れば売れる時代が終り、今まで通りにやるのが通用しなくなり、人と違う、見たことがない、誰もやってないアイデアが生き残りのために必要な時代が変わったのです。

時代は変わったのに、特に日本社会は「普通」、「昔と同じ」、「みんなやってること」を尊重しています。

生徒のみなさんが次の時代に合わせて成功していくには、われわれ大人の生き方、考え方をそのままねてはいけないのかもしれない。